

新規WG「宅配弁当EXPO」の打ち合わせ**《打ち合わせの議題》**

- ・各事業者、メンバーの紹介
- ・高齢者向けの宅配弁当の試食会の打ち合わせ
 - ーコンセプト(目的・主旨、対象者)
 - ー開催要項(日時・場所、主な構成)
 - ー運営実務(役割分担)
 - ー集客告知(媒体や紹介、広報など)
 - ー費用とスケジュール

イベントのコンセプト、開催要項

これまでの打ち合わせから、イベントの企画資料にまとめています。

新宿食支援研究会プレゼンツ

高齢者向け宅配弁当 イベント資料
新宿食支援研究会

新宿の高齢者向け宅配弁当を集めた品評会イベント (略称:宅1グランプリ)

イベント企画資料

2019年7月5日



高齢者向け宅配弁当 イベント資料

品評会イベントの開催予定(1)

新宿でデリバリーしている高齢者向け宅配弁当を集めた、品評会イベントを開催します。

主旨・目的

- ・新宿エリアをデリバリーする宅配弁当が複数社集まって、在宅ケアを担当する専門職や高齢者・家族の目線で、試して選べる参加型のイベントを開催
- ・最終的な利用者である高齢者・家族が、きちんと家庭にあった良いものを選んで、食を通じて喜んでもらうことや生活を支援するために、宅配弁当を知ってもらい、さらにそのサービスの向上を目指す

想定する内容

- ・新宿エリアをデリバリーする宅配弁当が複数社集まって、各社の特長・内容や付帯サービスの紹介(弁当の素材や製法、摂食嚥下や栄養面の配慮、付帯するサービスなど)
- ・弁当を配達してコミュニケーションするサービスなので、そのスタッフの様子や働きぶりも紹介へ(デリバリーするスタッフも人材不足なので、その人材募集のPRも兼ねる)
- ・在宅ケアを担当する専門職や高齢者に関わるボランティア・NPO団体から高齢者本人・家族に声掛けして来てもらい、各社の評価や試食した感想を回収(関係者へのフィードバックに情報活用して、さらに宅配弁当のサービス向上へ)
- ・行政から指定や委託を受けている宅配弁当の利用要件や申込方法も紹介(区役所や地域包括の担当者に来てもらい、行政サービスの案内へ)



在宅ケアの高齢者目線で、試して選べる機会がなかったため、新食研が開催

高齢者向け宅配弁当 イベント資料

イベント企画の背景

市場ニーズがありながら、十分な理解・啓蒙がされていない状況から、新食研が品評会イベントを開催します。

高齢者向け宅配弁当のニーズ

・宅配弁当(配食サービス)は、高齢者世帯の増加に合わせて件数も上がり、さらに介護・医療保険の改正によって、在宅向けの食事・栄養ケアもフォーカスされて、今後は更に市場からのニーズが高まる



宅配弁当を選ぶプロセス

・しかしながら、高齢者向け宅配弁当は、まだ世の中に出て新しいサービスで、それを利用する高齢者本人・家族というよりも、在宅担当のケアマネジャーやソーシャルワーカーからの情報提供や紹介で選んでいる場合が多く、どんな特長や良い点・悪い点など情報が十分に伝わっていないことからミスマッチも見られる例)飽きてしまって辞める、冷蔵庫に入っまま、摂食・嚥下に合わせた食形態、病態向けの栄養管理など



宅配弁当に伴う生活支援・行政サービス

・一部の宅配弁当には配達に併せて、家庭内の手伝い(電球の交換など)や見守り・声かけなどの付帯サービス、行政から指定や委託を受けて一部費用が補助されるサービスもあるが、利用者の目線で、利用要件や申込方法が分かりにくい



その他に背景となるネック

・業界団体や自主ルールのなさ、サービススタッフの人手不足、店舗の倒産や撤退・M&Aなど

高齢者向け宅配弁当 イベント資料

品評会イベントの開催予定(2)

新宿でデリバリーしている高齢者向け宅配弁当を集めた、品評会イベントを開催します。

開催要項

- ・日程:10月20日(日)の11時~13時ごろ(約2時間前後)
- ・会場:天塩のキッチンスタジオ(大久保、設備が揃った30名ほど利用可)
- ・規模:参加者40~50名ほど
- ・主催:新宿食支援研究会
- ・協力:㈱フロー、㈱WINWIN



候補サービス

- ・ワタミのタクシヨク
- ・ベネッセのおうちごはん
- ・ライフデリ
- ・コープデリもしくは宅配クック123など

新宿区でデリバリーして行政の指定や委託先の候補になる事業者



介護・医療の専門家もコメンテーターとして参加・解説へ

- ・歯科医:五島先生(新宿食支援研究会:代表)
- ・ケアマネジャー:高瀬比佐子さん(kaigoカフェ:代表)
- ・管理栄養士:川口美喜子先生(大妻女子大学家政学部教授)



高齢者目線で社会PRに寄せた内容のため、行政や団体への後援を依頼

運営実務

試食会として運営や進行を想定すると、次のような役割が必要となる
(具体的に誰が適任、担当するかは、応相談です。)

■司会・進行

- ーディレクター(進行管理・指示役):1名
- ーイベント司会者:1名
- ーインタビュー役(司会の補助含む):1名
- ー撮影係(現場での撮影、編集や投稿含む):1名

■コメンテーター(専門職)

- ・歯科医:五島先生(新宿食支援研究会:代表)
- ・ケアマネジャー:高瀬比左子さん(kaigoカフェ:代表)
- ・管理栄養士:川口美喜子先生(大妻女子大学家政学部教授)

■説明・試食

- ー宅配弁当の各社担当者:2名ほど
(サービス内容の説明、試食の提供など)

■受付・案内

- ー入口での受付、チケット管理:2名
- ー会場での誘導、準備・片付けなど:2名
(上記の役割は兼任してもOK)

■その他

- ー協賛企業(マルコメ、天塩、伊藤園など)
- ー後援団体(新宿区、東京都、栄養士会など)
- ーマスコミ(媒体社、ライターなど)

過去の事例(イメージ参考)



集客告知

在宅ケアを担当する専門職や高齢者の目線で、試食会を告知して集客していく必要がある

■告知ツール

ーチラシ

ーWEB(ランディングページ、チケットページ)

ー上記に付帯するSNS、動画サイトなど

■媒体

ー媒体社(これまでに付き合いがある新聞社など)

ーライター(介護や食を担当するライターなど)

■紹介

ー食支援に関わる団体(フォーラム関係など)

ー新宿区の高齢者に関わる団体(地域包括など)

ーボランティア・NPO団体(暮らしの保健室、男の介護教室など)

ー新宿区の介護カフェやコミュニティカフェ(みんなのリビングなど)

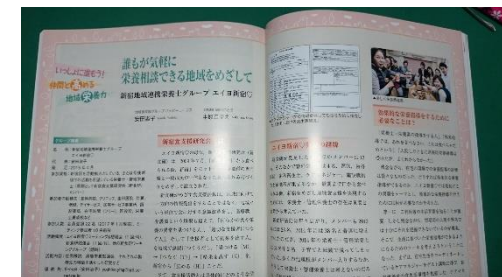
ー地域の敬老会や町内会

■リリース・広報

ー新宿区の産業振興課

ープレスリリース

ー他、



費用

この試食会イベントは、ニーズやプレイヤーに応じて、継続的に開催していくため、その運営費用もまかなわなければならない(事業として採算性が求められる)

《費用としてかかるもの》

- ・集客告知(主には制作関係)
 - ーチラシ:A4 カラー 両面 だと相場で2万円
 - ーWEB:1枚もののランディングページだと相場で3万円
 - ー動画の撮影、編集、掲載は、レベルとボリュームに応じて必要
 - ープレスリリース:1回1万円
 - ーチケットサイト:利用料の7ー10%

・運営実務(主には人件費)

司会・進行

- ーディレクター(進行管理・指示役):1名
- ーイベント司会者:1名
- ーインタビュー役(司会の補助含む):1名
- ー撮影係(現場での撮影、編集や投稿含む):1名

コメンテーター(専門職)

・今回候補の3名

説明・試食

- ー宅配弁当の各社担当者:2名ほど
(サービス内容の説明、試食の提供など)

受付・案内

- ー入口での受付、チケット管理:2名 1人5千円
- ー会場での誘導、準備・片付けなど:2名 1人5千円
(上記の役割は兼任してもOK)

会場費

- ーキッチンスタジオ 1回 2万円

なんだかんだ言って、
1式で30万円ほどかかる

《収益として見込めるもの》

- ー来場者の参加費:1人100円×50名 5千円
- ー企業から出資金:
- ー行政や公的団体の補助金:経産省のヘルスケア、日本財団など
- ー新食研のプール金:

何か、ベースとなる資金繰りが必要となる

参考クラウドファンディング

高齢者の食を通じて生活支援となる社会性となるものなので、世の中から集めることができないか

最近では、社会性・話題性のある取り組みをアップして、スポンサーを集めるプロジェクトもある

認定NPO法人セカンドハーベスト

企業・個人から食べられるにも関わらず捨てられる運命だった食品を寄付いただき、それを必要とする各種福祉施設・団体や個人へと届けるフードバンク活動

LFA食物アレルギーと共に生きる会

防災などの場面で、食物アレルギーがある当事者、保護者、一般市民に向けて全国のつながりのあるアレルギーの会から冊子を無料配布するために作成

Ready for クラウドファンディングとは はじめる さがす ログイン・登録

クラウドファンディングトップ > 社会にいいこと > 子ども・教育 > 誰もが食事に困らない社会の実現を。より多くの方に食を届けたい

誰もが食事に困らない社会の実現を。より多くの方に食を届けたい

社会にいいこと 子ども・教育 食生活・福祉 フード 活動企画

成立!!



森 奈緒美 (認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋)

寄附総額	1,444,000円
目標金額	1,000,000円
寄附者数	104人
残り日数	終了しました

寄附型 All or Nothing

プロジェクトが成立しました!
このプロジェクトは
2018年4月9日(月)23:00 に成立しました。

いいね! 630 シェア ツイートする B!ブックマーク 0

プロジェクト概要 新着情報 8 応援コメント 104 終了報告

Ready for クラウドファンディングとは はじめる さがす ログイン・登録

クラウドファンディングトップ > 社会にいいこと > 子ども・教育 > アレルギーっ子のママが考えた防災ハンドブックを作りたい!!

アレルギーっ子のママが考えた防災ハンドブックを作りたい!!

社会にいいこと 子ども・教育 災害 地域 防災 防災 防災 ママのチャレンジ

NEW



LFA食物アレルギーと共に生きる会

支援総額	595,000円
目標金額	2,000,000円
支援者数	93人
残り日数	75日

購入型 All or Nothing

29%

このプロジェクトを支援する
(※ログインが必要です)

子供たちが安心して災害時にすごせるように
少しでもアレルギーで被災時に苦労したり
命の危険にさらされる子供を減らしたい!!

いいね! 323 シェア ツイートする B!ブックマーク 8

プロジェクト概要 新着情報 0 応援コメント 93

このプロジェクトはAll or nothing形式です。9月30日(月)午後11:00までに、2,000,000円以上集まった場合に成立となります。

スケジュール

企画から開催までの、打ち合わせを含めたスケジュール

■企画

実務①集客告知

告知ツール、媒体、
紹介、
リリース・広報

実務②運営実務

司会・進行、コメンテーター（専門職）
説明・試食、受付・案内
その他

実務③他手配

行政への申請（保健所）
資金繰り（チケットや補助金、クラウドファンディング）

その他備考、次に向けた手配・確認点

- ・次回のWGの予定
- ・次の手配や確認点